

## 西洋なし「ラ・フランス」の好適受粉品種「ゼネラル・レクラーク」

西洋なし「ゼネラル・レクラーク」は、本県の西洋なしの基幹品種である「ラ・フランス」との交配親和性が高く、大玉で果実品質に優れた食味のよい中生種であり、「ラ・フランス」の受粉品種として有望である。

| 品種名        | 開花期間   |     |      |      | 調査年   |
|------------|--------|-----|------|------|-------|
|            | 4/21   | 5/1 | 5/11 | 5/21 |       |
| ラ・フランス     | [開花期間] |     |      |      | H2~10 |
| ゼネラル・レクラーク | [開花期間] |     |      |      | H3~10 |

注) [開花期間] : 開花始～落花期(平年)  
[年次によるふれ] : 年次によるふれ

「ゼネラル・レクラーク」の開花期間は「ラ・フランス」より1～2日程度遅いが、「ラ・フランス」の満開期には「ゼネラル・レクラーク」も開花始を迎えていることから受粉樹としての効果が十分期待できる。

図1 「ゼネラル・レクラーク」の開花期間

表1 「ゼネラル・レクラーク」の果実品質

| 品種         | 収穫期   | 1果重(g) | 糖度(%) | 酸度(g/100ml) | 調査期間  |
|------------|-------|--------|-------|-------------|-------|
| ゼネラル・レクラーク | 9/27  | 381.2  | 14.6  | 0.31        | H3~10 |
| ラ・フランス     | 10/15 | 247.5  | 14.9  | 0.22        | H2~10 |

果実は350～400gと大玉であり、果皮は厚くサビの発生がみられる。

糖度14.5%前後、酸度0.3%程度で、肉質はきめ細かく、溶解性、多汁であり食味はよい。

表2 西洋なしの交雑和合性(結実率) (%)

| 花粉         | ゼネラル・レクラーク | ラ・フランス | パートレット | シルバ・ベル | マルゲリット・マリテ |
|------------|------------|--------|--------|--------|------------|
| めしべ        |            |        |        |        |            |
| ゼネラル・レクラーク | -          | 97.5*  | 80.0*  | 87.8*  | -          |
| ラ・フランス     | 90.8       | -      | 81.3   | 93.1   | -          |
| パートレット     | 51.3*      | 83.9   | -      | 54.5   | -          |
| シルバ・ベル     | 87.8       | 91.7*  | 94.1*  | -      | -          |
| マルゲリット・マリテ | 5.3        | 95.0   | 97.5*  | 37.5*  | -          |

注) \*は山形園試S59～H5の成績より

「ラ・フランス」との交雑和合性は90%と高い。

豊産性であるが着果数が多すぎると隔年結果を示すことがあるため、着果数は5.5～7頂芽に1果を目安に摘果する。

収穫は、ヨード反応指数4～3、地色指数2～3(日本なしカラーチャートによる判定)を目安とする。

予冷0 15日処理で追熟を揃える効果が見られ、追熟温度は15～20 が外観及び食味良好となる。



写真1 「ゼネラル・レクラーク」の果実